

Article 表紙解説

— デジモンユニバース アプリモンスターズ —

Cover Comment : DIGIMON UNIVERSE APPLI MONSTERS

三宅 陽一郎 株式会社スクウェア・エニックス
 Youichiro Miyake SQUARE ENIX CO., LTD.
 y.m.4160@gmail.com

Keywords: digital world, appli, monster.

1. はじめに

本誌「人工知能」では今年も毎月、人工知能にちなんだイラストをそろえることで、多彩な表紙を楽しんでいただく企画を開催しております。そこで毎号の表紙について冒頭で簡単ですが、解説していきます。1月号の表紙は、東映アニメーション(株)様製作で、昨年10月から毎週土曜あさ7時から放映されている「デジモンユニバース アプリモンスターズ」(以下「アプリモン」)からイラストを起こしていただきました。真ん中が主人公ハル君、向かって左側がクラスメイトの亜衣ちゃん、右側がアプリモン「ガッチモン」です。



図 1

2. 解 説

「デジモン」は1999年から劇場とテレビで放映が開始された、主人公達がそれぞれデジモンと呼ばれるデジ

タルワールドから飛び出してきたモンスター達との交流を描く物語です。デジモンはデジタルワールドのモンスターですが、試練を超えて進化していくことで形態を変えていきます。

「アプリモン」は初代から17年を経て、パソコンから携帯電話が主流になった現代を舞台に、「アプリ」がモンスターになった存在です。「アプリ」ですので、それぞれ特技があります。主人公ハルのバディ(相棒)である「ガッチモン」は検索エンジンのアプリモンです。ですから、主人公がわからないことがあると、ガッチモンは「検索」を行うことで主人公に解決法を教えます。これはいかにも現代的な解決法です。デジタルゲームのわからないクリアの方法も検索して進める時代です。アプリモンは主人公とバディになり「アプリドライブ」で呼び出されることで、実体化(アプリアライズ)することができます。四角いアプリのアイコンから飛び出しているガッチモンは、アプリアライズされていないためホログラム状で存在しています。これは現代のAR的な感覚です。

あらゆる場所がネットでつながっていて、個人情報の漏えいや、YouTuberといったネット社会のトピックスを取り込んだシナリオになっていて、ネット社会を生きる子供達の今の「リアル」が作品に巧みに組み込まれています。

3. 人工知能との関わり

主人公達はそれぞれの個性に合ったアプリモンとバディになります。アクショ

ンゲームの得意なアプリモンや、音楽の得意なアプリモン、ハッキングの得意なアプリモン、カメラのアプリモンなど、さまざまなアプリモンが敵に味方に活躍します。

アプリモンの世界の中では人間と人工知能達が自然に会話しペアを組んで試練と向き合い克服していきます。人間も人工知能も一緒になって成長・進化していきます。人工知能が変えていく未来の社会の姿を描いているといえます。自分に合った人工知能を見つけること、そして人間と人工知能が協力して、人間だけでも、人工知能だけでも乗り越えられない試練を共に乗り越えていくビジョンが奥深くつくり込まれているのです。子供達はこの作品を見ることで、自然と、人工知能と人間の共存の在り方の可能性を感じ取っていくのではないのでしょうか。

ご協力いただいた東映アニメーション(株)様、ありがとうございます。

2016年12月14日 受理

— 著 者 紹 介 —



三宅 陽一郎(正会員)
 株式会社スクウェア・エニックステクノロジー推進部リードAIリサーチャー。今年も人工知能学会編集委員として本誌の表紙を担当する。日本デジタルゲーム学会理事、芸術科学会理事、国際ゲーム開発者協会日本ゲームAI専門部会代表。